

### 【1. 概要】

- ・露地オクラ栽培で、土着天敵を活用したIPM技術による害虫防除の取組を実施
- ・平成27年度は指宿地区の30戸に拡大
- ・地元生産者や技術員を集めて現地研修会を開催(平成27年度は5回)

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・指宿地区は日本一のオクラ生産地だが、登録農薬が少ないことや、薬剤抵抗性の発達等のため、化学合成農薬に依存しないIPM技術の導入が望まれていた

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・農業開発総合センターと産地が連携し、現地実態調査や現地ほ場での技術実証試験を実施した
- ・現地ほ場での技術実証試験では、ほ場周囲に天敵が集まりやすい植物(ソルゴ一等)を植え、その地域に生息する益虫(土着天敵)を活用して害虫を防除するIPM技術に取り組み、一定の成果が得られた(図1、図2)
- ・27年度はIPM技術の実証展示ほを設置し、本技術の取組を30戸に拡大するとともに、生産者や技術員を集めて現地研修会等による啓発を行った(計5回開催)

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・慣行栽培ではアブラムシの防除回数が7回であったのに対し、IPM実践ほ場では土着天敵の温存管理により、2回の防除でアブラムシの発生を抑えられた(図2)
- ・実証展示ほの設置や現地研修会を通じて、産地のリーダーや技術員が、本技術への取組を産地全体に広げなければならないとの共通認識を持つに至った
- ・今後も本技術の実証展示を展開し、将来は管内全戸(568戸)への拡大をめざす



図1. オクラほ場の一角にソルゴを植栽

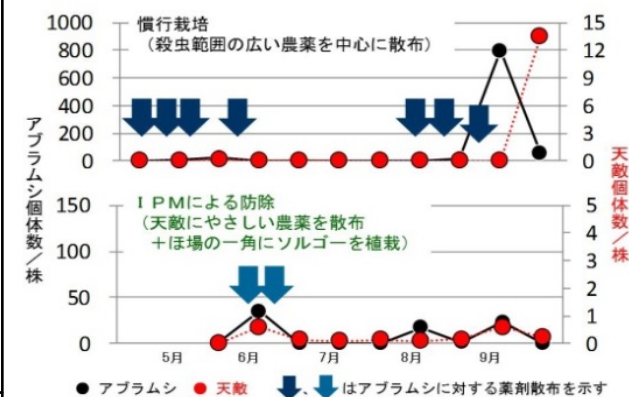


図2. 現地オクラほ場におけるアブラムシと土着天敵の個体数(平成26年)

【問い合わせ先】  
農政部食の安全推進課  
生産環境係  
電話：099-286-2891